

平成15年10月 8日

各 位

アジア パシフィック システム総研 株式会社
 本 社 : 東京都豊島区目白一丁目4番25号
 代 表 者 : 代表取締役社長 木 庭 清

平成16年3月期(平成15年4月1日~平成16年3月31日)

特別損失の発生及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成15年10月7日に提出済みの「債権の取立不能又は取立遅延のおそれに関するお知らせ」に基づき、平成15年5月9日の決算発表時に公表いたしました平成16年3月期(平成15年4月1日~平成16年3月31日)の通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の業績予想数値(平成15年4月1日~平成16年3月31日)

(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	4,900	250	140
今 回 発 表 予 想 (B)	4,900	250	1,320
増 減 額 (B - A)	0	0	1,460
増 減 率 (%)	-	-	1,042.8%
(ご参考) 前 期 実 績 (平 成 1 5 年 3 月 期)	4,332	59	178

2. 修正の理由

当社の取引先であるアエル株式会社は、平成15年9月30日付けで東京地方裁判所へ会社更生法適用を申請しました。その結果、同社向け貸付金について取立不能または取立遅延のおそれが生じたことにより、第35期(平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)の中間会計期間において貸倒引当金繰入額15億円を特別損失に計上する予定であります。

なお、当期純利益は損失を計上いたしますが、当社の対応として、利益剰余金およびその他資本剰余金で処理を行なう予定であり、当社の業務活動に支障は無く、売上高および経常利益の予想の修正はいたしません。

注) 上記の業績予想につきましては、現時点で得られた情報に基づき算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、業況の変化等により業績予想と異なる結果となる可能性があります。

以 上